

平成 17 年度 協会活動主要目標

主題「協会設立 40 周年を迎えて 専門性の堅持と社会貢献の推進」

現在わが国は、社会福祉基礎構造改革のもと、高齢者施策および障害者施策においてもサービスを選ぶ主体が当事者であるという考え方が明示された。また、介護保険制度の見直しにより介護予防に重点をおいた施策が計画されている。このような状況を踏まえ、多様化するニーズの一層の把握とそれらに対応できる作業療法の展開が必要とされる。そのためには各保険における作業療法の裏付け、専門性および地域自立生活支援技能の一層の向上が求められる。また新潟県中越地震の状況を鑑み、協会と各士会が連携し対応できるマニュアルの策定、さらに協会の機能評価の実施は緊急の課題である。

昭和 41 年に 22 名で発足した日本作業療法士協会は本年 40 周年を迎える。これまでの歩みを省み、先輩達の業績を尊び、会員諸氏とこの一年を祝うと同時に 10 年後に向けた飛躍の一年とする。

1. 作業療法の専門性の堅持

- 1) 認定作業療法士制度の定着
 - ・生涯教育制度の研修内容の充実
 - ・事例集積システムの円滑な稼働
- 2) 専門作業療法士制度の制度設計
 - ・専門作業療法士の水準の明示
 - ・専門作業療法の領域の明示
- 3) 医療保険改定および介護保険見直しへの対応
 - ・診療報酬引き上げ要望のための作業療法の有用性の実証
 - ・介護保険制度のもとで必要とされる作業療法技能研修の企画と実施
(教育部、学術部、保健福祉対策委員会、保険部、事業部、渉外部)

2. 社会貢献の推進

- 高齢者、障害者の地域自立生活支援への対応
- ・福祉用具適用技術向上のための講習会の実施
 - ・認知症患者を抱える家族支援のための講習会の実施
 - ・心神喪失者等医療観察制度への継続的参画
(事業部、精神障害問題担当理事)

3. 協会組織機能の整備

- 1) 大規模災害等への対応体制の整備
 - ・大規模災害時の対応マニュアルの作成
(事務局、企画調整委員会)
- 2) 協会活動の機能評価(継続)
 - ・各部委員会への事業評価の実施
(企画調整委員会、各部委員会)

4. 40 周年記念事業の企画および実施

- ・40 周年記念事業実行委員会の設置
- ・40 周年記念事業の実施
- ・第 41 回定期総会時の記念講演の実施
- ・40 周年記念白書の編集
(40 周年記念事業実行委員会、表彰委員会、企画調整委員会)